

## 令和2年度 第3回

### アーバンデザインセンターびわこ・くさつ事業運営懇話会 会議録

- 日時：令和3年2月24日（水）14時30分～16時10分
- 場所：フェリエ南草津5階 市民交流プラザ大会議室
- 出席委員：肥塚座長、加藤副座長、及川委員、武田委員、田畑委員、神部委員、秦委員、伊庭委員、有村委員、片岡委員、内山委員、亀石委員、北村委員、松井委員
- 欠席委員：田中委員、阪本委員、松浦委員、深尾委員
- 傍聴者：なし
- 事務局：堀田理事、本村調整員、中瀬参事、坂居専門員、辻会計年度任用職員

#### 1.開会

##### 【事務局】

これより令和2年度第3回アーバンデザインセンターびわこ・くさつ事業運営懇話会を開催させていただきたいと思っております。まず初めに草津市総合政策部理事、草津未来研究所の副所長の堀田から御挨拶をさせていただきます。

##### 【堀田理事】

皆様、こんにちは。本日はお忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。本日は今年度最終の懇話会となります。今年度は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のために、これまでに様々な試行錯誤を行いながらUDCBK運営事業を進めてまいりました。

本日の議題は令和3年度実施事業についてとなっておりますが、今年度は南草津エリアまちづくり推進ビジョンの策定作業を行っており、その内容も踏まえていただきながら10年先、20年先のまちづくりにつながるよう私たちも取り組んでまいりたいと考えておりますので、忌憚なく御意見をいただければと思います。

本日はどうぞよろしくお願いいたします。

##### 【事務局】

それでは、議事に入ります前に、配布資料の確認をさせていただきたいと思っております。本日の次第と資料は1から4まで、あと参考資料が1、2です。皆様、お手元にご覧いただけますでしょうか。また、本日欠席は立命館大学の田中委員、京都橘大学の阪本委員、滋賀医科大学の松浦委員、龍谷大学の深尾委員です。御欠席の委員の方には後ほど御意見を頂戴することになっております。よろしく願いいたします。開会につきまして、座長からひと言お願いいたします。

**【座長】**

新型コロナウイルスの状況が続いている中で今年度のまとめをしていくわけですが、この1年、皆様方の御家庭もお仕事もですが、このUDCBKにおいても大変厳しい状況の中で活動をされたということで関係の皆様にご敬意を表したいと思ひますし、御尽力いただいた方々に感謝を申し上げたいと思ひます。

最初に報告が2件あります。まず、南草津エリアまちづくり推進ビジョンの概要版ができたということです。これについての報告を事務局からお願いいたします。

2. 報告

**【事務局】**

(資料の説明)

**【座長】**

これが案ということで、この後修正も踏まえたうえでパブリックコメントということですか。この件につきまして御意見御発言をお願いします。

**【A委員】**

南草津エリアまちづくり推進ビジョンの策定のための懇話会に関わっているので、少し補足をさせていただきます。実際まだこれは途中の状態ですが、3ページの右側にゾーニングと書いてあって4ページにもゾーニングとあります。このゾーニングというのは、都市計画の図の色分けのような意味ではなくて、どちらかというと3ページに載って様々な施策を類型化して、それが主にどのあたりに分布して展開していくかということを表してみたものです。ゾーニングと書いてありますが、「施策群の展開」という名前にしようかと話しているところです。4番の図を見ていただくと、緑と赤と紫と、割と領域が限定されているものもあれば、黄色のように各地域の拠点を活かしながら活性化していこうという施策が広がっているものもあります。大きな青い矢印は、つながり関係を高めていこうという施策で、交通などのつながりをしっかりしていこうということです。

**【B委員】**

確認したいのですが、南草津エリアというのは志津南も入っていますよね。都市マスの地域別構想は志津南が入っていない。みなくさビジョンの方が素直でいいと思うのですが、都市マスの地域区分と違うので、私は都市マスの方々と関わりながらやるのがいいと思ひます。都市計画のスタートが老上地域になっていて南草津の駅のところでパシッと切れてしまって、都市マスの地域区分と現状とちょっと違うような気がして、今回のみなくさビジョンの方が地域の取り方として素直かなと思ひます。これは従来の

草津市の計画かもしれませんが、一度お話していただければと思います。

**【事務局】**

現在、みなくさビジョンより少し遅れるかたちで、新しい都市マスの策定作業を都市計画課でしております。内容を詰めている段階です。新しい都市マスの中のどのあたりがみなくさビジョンに該当しているかはっきりと文言を入れることなど、担当の都市計画課と調整しているところです。

**【B委員】**

ぜひお願いします。これだけ議論していいビジョンができたので、逆に都市マスの方に反映してもらおうようにしていただくとか、そうするとまちづくりが一緒の方向に見られるようになりますよね。協議していただければと思います。

**【C委員】**

質問です。資料の2ページ目に南草津エリアの課題が4つ載っていて、将来像と目標が3つ書かれています。なぜ課題が4つなのに目標が3つに集約されているのか。矢印の関係が分かりにくいので工夫した方がいいと思います。

**【座長】**

課題4つと目標①②③に対応関係が明確にあるのか、ないのか、というところで、この関係性について御説明をお願いします。

**【事務局】**

御意見いただきましたので、事務局の方でも検討させていただきます。

**【座長】**

御質問ある方、お願いします。

**【D委員】**

3点あります。1点目は、安心・安全に住み続けられるまちとありますが、帰り道で暗いなど思うことがよくあり、安心安全という観点からもう少し街灯が増やしてほしいと思います。これは都市計画課に言うことかもしれませんが、このまちは子どもも多いので。2点目は、南草津駅で行われた交通の社会実験についてどの程度効果があったか知りたいです。3点目は、防災のまちづくりについて。最近3.11の大きな余震がありました。大学でも行動が制限されている状況の中で、防災のまちづくりにおいて大学生がどのように地域とつながり、コミュニティづくりをやっていくのかということの議

論がされているのか、お伺いしたいです。

#### 【事務局】

かなり具体的な内容の御提案をいただきました。安心・安全に住み続けられるまちの施策の概要についてこの計画が策定されてから進めていくところですので、いただいた御意見を事務局の方でも共有できるように、都市計画課とも共有させていただきたいと思います。

また、南草津駅でのロータリーの社会実験の結果につきましては、具体的に決まっていることはないのですが、検討委員会の中でも来月早々に報告をされると聞いています。報告会などUDCBKで何かするのか南草津近隣とするのか等、担当も考えていると思います。まだどのような形で報告をするのか開示できませんので、分かり次第御連絡させていただきたいと思います。

#### 【座長】

3点目についてはとても大切な観点かなと思います。防災は社会的な弱い立場にある方をどうサポートするのか、大変重要な観点です。特に南草津エリアは学生が住民としてたくさんいるということで、今後、市や地域の方々、大学がしっかりと話をしていく必要がある課題だと思っています。目標の①、②とも関わっていくようなことだと、私としては受け止めたいと思います。

#### 【A委員】

先ほど御指摘のあった課題が4つに対して目標が3つになっていることについての補足です。例えば2ページ目の課題の3番目を見ていただくと、ちょっと特殊で非常に総合性が高い。魅力的といっても視覚的なのか人が魅力的なのか歴史的なものなのか、そういった魅力ある場所の多様な交流活動は動き回らないとできない。本当は3番目は上にあって、1、2、3、4というあたりは押さえていくということは認識しながら議論はしていました。そうした時に目標1、2、4あたりを個別に詰めていけばよいかというと、そうすると分野ごと縦割りの世界になって本当に総合性が生まれるのかということがあるわけです。4ページ目の図の書き方で悩んでいるのが5番で、なかなか縦割りでできないような施策を作っていくといった議論をいろんな主体をつないでいくのが図4のプロジェクト体制で、ぼんやりとUDCBK中心で描いているようなところがありました。これはこれから直すわけですが、みなくさビジョン推進懇話会でもここにUDCBKがあるということに委員の皆さんは違和感を持たれないような状況でした。UDCBKがこれからこういった分野間連携や主体間連携で果たしていく役割を期待されていると感じております。

**【座長】**

3 ページの内容を見ても都市計画や建設、ハード面に関わるようなことも載っていて、これが果たしてUDCBKが真ん中にある、それが可能なのかということはかなり慎重に考える必要があると思っています。重要な連携の一つの主体にはUDCBKに期待されるので、その役割を果たしていくべきだと思っています。3 ページの内容についてはいろんな角度から検討していくべきだと思います。1 ページのビジョンの位置付けについても左側が中心市街地活性化基本計画、右側が地域再生計画、かなり重い計画の真ん中にはほぼ同等の計画の位置づけがあるようにこの図になっている。それぞれの推進体制の関係から言うと、こういう形で行けるのか総合的に判断すべきだと思います。市の計画なので、市としてどういう責任体制を持つのか大変重要だと思います。

**【A委員】**

最終版を作るにあたり難しい点は、まちづくり推進ビジョン自体は具体的な事業予算を付けて作る企画ではないところです。実際の計画については、これから行政的な手続きを踏んで予算とかいろんなことを含めて決まってくるのだけれども、そこに向けたビジョンをみんなで作っていくということ。それをより具体的にしていくためには、あとは業者の皆さんお願いしますということではなくて、いろんな主体が議論しながら検討を続けていくことが必要で、それを続けられる体制をしっかりと作らなくてはならないということを本来ここで分かりやすく示すべきなのですが、皆さんと共有できたら有難いなと思っています。

**【座長】**

この件は引き続きパブリックコメント等々踏まえて、来年度に入ってから決まってくると報告を受けています。そのうえでUDCBKとしてどうしていくのかということをお相談させていただきたいと思っています。それでは、令和2年度実施事業報告をお願いします。

**【事務局】**

(資料の説明)

**【B委員】**

社会実験準備事業は何年か継続的に続いているので、そろそろテーマを整理してやれるところはどこなのか、元来本当の社会実験に結び付けばいいのですが、そうでなくてもダイレクトにまちづくりに活かしてもいいのではないかなというのもある。そこら辺の整理をこれからやっていって小さなプロジェクトでもいいから立ち上げて、その際にスクールに参加していただいている方々にそのコアになっていただくという

ような形でうまくやれば良いなと思います。

**【座長】**

成果報告会は毎年度されていますが、それをその後どのようにつなげていくのか、社会実験につなげていくやり方もあるだろうし、違うやり方もあるだろうし、整理をしていく時期だろうと思います。

他に御質問御意見ある方、お願いします。

**【E委員】**

今年の事業はほとんどオンラインで行われたということですが、対面式でやっていた時と今年のようにオンラインでやった時と比較して、メリットやデメリットなどあれば教えていただきたいです。もうひとつはオンライン化することによって参加者層に変化があったか、特に高齢者層に変化が出てきたか、教えていただけると有難いです。

**【事務局】**

オンラインによるメリット、変化ですが、今までつながりがなかったところとつながれたと思います。草津市民の方以外にも遠方の方ともつながれました。近隣の中だけで考えると視野が狭くなるのですが、遠方の方が参加されているんな事例の投げかけをしていただくことで広がっていく部分もありました。その点は良かったと思います。デメリットは人との触れ合いがなく、もう一步踏み込んだお付き合いがしにくかったということです。やさしい日本語サロンなどでも、直接会々と身振り手振りやちょっとした様子の変化で相手の方が思っていることに気付けますが、そういったことが出来なかったのが残念でした。また、オープンスペースは交流の場という目的があるのですが、それが活用しきれなかったというのは、オンライン化したことによって生じたことだと思います。

参加者層の変動はあまりないですが、高齢者の方は少ないです。近隣の方からの御意見で、今オンラインが進んでいるけれどもなかなかオンラインを使おうという一歩が踏み出せないのが、例えばUDCBKの方でオンラインを主に事業をやっていくのであればZoomの勉強会のようなものがないかというお声もいただいています。特に御高齢で対面では感染が心配とかオンライン操作は難しいという方が参加して下さる可能性があるのであれば、そのような講習会を行う等の必要性も出てくるのか思っております。

**【E委員】**

オンライン化によって以前よりも高齢者の方の参加が減ってきているということですね。

【事務局】

一概に大きく落ちているというわけではないのですが、いつも来られている方のお名前を見かけないなということがあります。

【E委員】

これからこういう状況が続くということを考えると、特に草津市は健幸都市を挙げているというくらいですから、当事者としての高齢者の声というのは都市計画において非常に重要だと思います。情報の障害によってそれがなかなか挙がってこなくなるということは出来るだけ避けたいと思うので、どこかで Zoom の講習会など検討していただければと思います。

【F委員】

アーバンデザインスクールに参加させていただいて、大変面白かった。友達からも、夜の外出しにくい時間帯なので、Zoom で参加できるのはすごいという意見や、面白かったという意見がありました。申し込みをした後、開催日時を忘れてしまうことがあるので、リマインダーのメールがあるのはいいと思います。参加率が上がると思います。もっと他の人にお知らせしたいと思うぐらい面白い内容でした。

【事務局】

ありがとうございます。アンケートのURLを開催日の少し前に送らせていただいているのですが、見落としも出てくると思うので、参加したいなど意欲を持って申し込んでいただいた方に対して、もう少し丁寧に御案内できるように考えていきたいと思えます。

【G委員】

セミナー、スクールの話で私もぜひ参加したいと思ったのですが、夜だと子どもが家にいてなかなか参加できない。もし可能であれば録画していただいて、その時間に参加できなくても後で申し込んだら見返し出来るようにしていただけると非常に参加しやすいと思います。

【事務局】

録画も考えているのですが、内容によっては著作権の関係等で公開が難しいところもあります。だからと言って全てしないというよりは、できることから始めてみるということも来年度は試してみようと思います。多分対面式が再開してもオンライン配信がなくなることはないと思いますので、今の御意見も併せて整理していきたいと思えます。

**【座長】**

大学でも著作権については悩ましい問題です。工夫は絶対必要だと思っております。

**【H委員】**

都市と交通シナリオスタディワークショップを見ていて、すごく面白いなと思いました。出来上がった成果案は夢があつていいなと思うのですが、このワークショップでのアイデアを実際に活用されるということはないのでしょうか。また都市と交通ワークショップとみなくさビジョンとの関係についても教えてください。

**【事務局】**

都市と交通ワークショップというのは、まず南草津エリアについて考えていく時に交通というのは大きな問題となってきますが、ただ交通のことだけを考えていたらいいまちづくりができるものではないということから始まったものです。今年度、まずセミナーを開催してからワークショップに参加していただき、どういふ20年後の未来が描けるかを検討していただきました。これはこれで完結ではなくこれから積み上げていくもので、UDCBKに掲示して皆様に見ていただいているいろんな御意見をいただくという意味合いがあります。それをみなくさビジョンの方にも反映させますが、皆様から頂いた意見と同じような立ち位置で反映させるという形になります。

**【D委員】**

先ほどスクールのアーカイブの話が出ていました。今簡単にフェイスブックで報告はされていると思いますが、僕らのような若い世代はハッシュタグで「タグる」という言葉があるぐらいインターネットで検索するよりもインスタグラムから入っていくというパターンが増えています。ユーチューブにアーカイブを残すということはハードルが高いと思うので、資料は使えないとしても文字だけで見せられる範囲で活動を公開していくとか、数を多くいろんな方向から発信していくのがいいのかなと思います。高齢者の方向けの講習会の話が出ていましたが、誰一人取り残さないという観点からもそれをどこがするのかは分からないですが、そういうサポートはしてもいいのではないかと思います。

**【事務局】**

インスタグラムの件も前回ハッシュタグUDCBKでというお話をいただいた時に、なるほどそういうことが出来るかといういろいろ調べてみると、その一つもなかなかハードルが高いという部分もあるのですが、それができた時に情報に行きつくような形を作っていくということはすごく大事だと思います。出来てから考えていると遅いので今いた

いただきました意見をもとにどういう整備ができるか考えていきたいと思います。先ほどの誰一人取り残さないというところですが、もし大学や企業でそういう活用ができるのであれば一緒にさせていただきたいと思います。

### 3. 協議

#### 【座長】

それでは令和3年度実施予定事業案についてお願いします。

#### 【事務局】

(資料の説明)

#### 【C委員】

オープンスペースと情報発信のところですが、他のまちづくり協議会の方と話していた時に、UDCBKは何をしているところか、どこにあるのかという話が出ました。アンケートを取ったところ、一般の人にはあまり認識されていない、オープンスペースそのものがどこにあるか分からないというような回答があったようです。情報発信をいろんな形でしていることが知られていないので、南草津駅前のオープンスペースのことやUDCBKの活動内容などをもう少しいろんな形でPRしていくべきではないか、まちづくり協議会ではそのような意見が出ました。

#### 【事務局】

玉川のまちづくり協議会が学区の方に対してアンケートを取られ、玉川学区にある公共施設がどれだけ知られているかという部分があり、UDCBKの認知度が低いとお聞きしました。まちづくり協議会からは、せっかく玉川学区にある施設なので、協力をするから知名度が上がるようにしていきましょと、なぜ認知度が上がらないのかという御指摘ではなく、どうしたらうまく皆様に届くかというところを一緒に考えようというお言葉をいただきました。単に情報発信するだけでなく、どのようにしたら認知度が上がっていくかということも含めて考えていきたいと思っています。

#### 【J委員】

社会実験準備事業等の予算について、総額の予算はA区分とB区分を合わせたの予算ですか。

#### 【事務局】

合わせたの予算です。

#### 【D委員】

情報発信についてですが、UDCBKを利用する側がリコメンド出来ていないなど感じています。例えば学生生活の中でこういう施設を使ったらどうですかとか、大学生がUDCBKで行った実施事例を他の学部伝える等、周知していくというのにも必要かなと思いました。

#### 【事務局】

そちらに関しましては、UDCBKの方から各大学様に、このような使い方がされていますという発信が出来ていないことによって生じているのではないかと思います。事例をまとめてお配りして、そこから今御意見いただいたようなつながりや連携が持てるような仕組みを作っていきたいと思います。

#### 【K委員】

大学と企業の連携についてですが、大学と企業がそれぞれどのようなニーズがあるのかお互いの情報をマッチできるような情報共有化の仕組みがあれば、我々も情報提供させていただきながら協力できる部分があるのではないかと思います。

#### 【事務局】

組織と組織、お互いが求めているものが相手に届いていなくて結び付いてないということはあり得る話なので、需要と供給がうまく合うような仕組みも考えていきたいと思います。それをやるに当たって、どのような投げかけが一番届きやすいかというのを事務局から皆様に聞かせていただくこともあると思います。そのような事例を参考にしながら作り上げていけたらと思っております。

#### 【座長】

UDCBKもそうですが、それ以外の場所でも出会いをどう作っていくかというのは大変重要な課題だと思っております。その点でどんな仕掛けがいいのか、様々な事例を参考にしていくことが必要だと思っております。

#### 【B委員】

セミナーとスクールに関して委員の皆様にお願いです。まず一つ目は、委員の皆様はセミナー、スクールの周知をしていただきたいということです。専門の講師の方をお呼びしているので、たくさんの方に知っていただきたいと思っています。二つ目は、テーマについて委員の皆様から提案をしていただきたいということです。こういうことを学びたい、こういうテーマでどうかということでも気軽に事務局に連絡していただければと思います。

**【座長】**

今回は医療、健康というテーマでした。一見、まちづくりや都市と関係しなさそうなところが結び付くといったこともあるので、テーマの御提案いただけたらそれを参考にさせていただきます。よろしくお願いします。

**【F委員】**

内容はとても分かりやすかったのに、題名を見ると非常に難しく思えてしまいます。このような題名では友人を誘うのも困難になってしまうので、ポスターやチラシだけでも題名を分かりやすくすると良いのではないかと思いました。

**【B委員】**

確かに、今言われてそう思いました。妙にアカデミックにこだわってきたようなところもありますので、分かりやすい言葉でアピールできるようにしたいと思います。貴重な御意見ありがとうございました。

**【副座長】**

今年5月、草津駅の近くに新しい施設ができて、愛称がキラリエ草津と言います。この施設に商工会議所が移転します。この施設も産学公民連携のプラットフォームとして位置付けをされており、UDCBKも産学公連携のプラットフォームという位置付けもあるので共通点があります。お互いに連携して相乗効果がでるような形で具体化していければと思っています。立命館大学の情報理工学部の移転後の対策として滋賀県、草津市、立命館大学との間で起業拠点の支援ということも言われています。商工会議所の方でも参画し、UDCBKとの間で連携が取れればと思っています。

**【事務局】**

草津は草津、南草津は南草津というのではなく、お互いのいいところを活かしていけるような方法を考えていけるように連携を強めていければと思っています。

4. 閉会

**【座長】**

それでは、全ての議事をこれで終了とさせていただきますと思います。

**【事務局】**

委員の皆様、本日はお忙しい中長時間お付き合いいただきましてありがとうございました。本日いただきました御意見をもとに来年度の事業計画を立てていきたいと思いま

す。今までの積み上げがどのようにつながっていくかということも併せて次の懇話会の時には御報告させていただけるような形をとっていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします

次回の懇話会は5月ごろを予定しております。また調整をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。本日の運営懇話会はこれで閉会させていただきます。皆様ありがとうございました。